



# 知ら咲か



2020 DICEMBER NO.91

(編集発行)「知らせましょ・咲かせましょ」事務局・広報(住所)宝塚市逆瀬台 URL <http://www.shirasaka8.net/>  
連絡先 「知ら咲か」ホームページの「問い合わせ」をご利用下さい。

**冬を迎える新型コロナウイルス感染症  
感染拡大しています、十分な対応を！**

やはり基本の「3密の回避」、「マスクの着用」、「石けんによる手洗い」、「手指の消毒」などの励行をしましょう。

**■兵庫県感染拡大期Ⅱへ**  
感染拡大が続く新型コロナウイルス感染症、兵庫県の新型コロナウイルス感染症判断基準に照らせば、11月11日には警戒拡大期Ⅱで特に注意を要するステージに入りました。(11月11日速報時点)

下側のグラフでは日別の陽性者数を縦棒で、一週間の平均値を折れ線グラフで表しています。ここにかけて大きな波が押し寄せているように感じられます。全国的に見ても日別の新規陽性者数が最多のところが多くと報道されています。

**■社会経済活動と共に**

緊急事態宣言が発出された頃は、「ステイホーム」に代表されるように、すべての活動を自粛することで感染拡大を止め根絶する試みがされました。ただ、活動をストップすることによる社会的な損失が大きいことから新型コロナウイルス感染症対応との両立が選択されました。

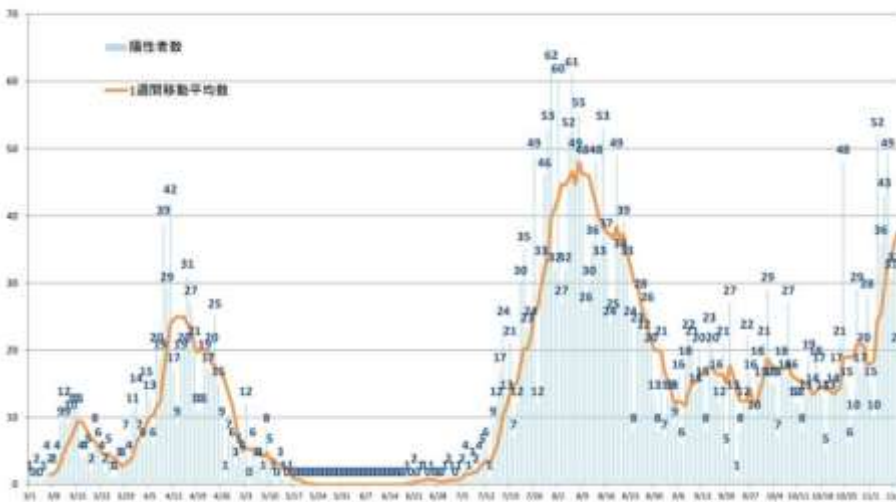
企業活動だけでなく、大規模イベントの入場制限の緩和、「GO TO トラベル」「GO TO イート」等々の移動を伴う旅行や人が集まる外食等のキャンペーンも企画されました。確かに経済効果はあったようです。

兵庫県の判断基準

	感染小規模	感染拡大期	感染拡大期	感染拡大期Ⅰ	感染拡大期Ⅱ	感染拡大特別期
判断基準 (新規陽性者数 (1週間平均))	10人未満	10人以上 (警戒基準)	20人以上	30人以上	40人以上	総合的に判断
対応の方向性	予防	警戒	制限強化			制限強化

(11月10日14時現在)	11月4日	11月5日	11月6日	11月7日	11月8日	11月9日	11月10日
新規陽性者数(1週間平均)	25.4	29.1	33.3	33.7	36.1	37.6	38.7

陽性者数の推移



**■リスクを避けましょう**  
基本的注意事項です。  
①マスクの着用  
②距離の確保  
③3密を避ける  
④寒くても換気の実践  
⑤適度な保湿

**■避けたい「5つの場面」**  
次のような場面が感染リスクが高まる場面です。「5つの場面」  
① 飲酒を伴う懇親会  
② 大人数や長時間の飲食  
③ マスクなしでの会話  
④ 狭い空間での共同生活  
⑤ 居場所の切り替わり  
再拡大する新型コロナウイルス感染症、今一度、記を引き締めましょう。

**10月24日(土)・25日(日)**  
**第12回白瀬川絵画サークル作品展**  
**於：逆瀬台マンション二階集会所**

第12回絵画作品展は秋  
 晴れのさわやかな天候に恵  
 まれ、来場者50名と盛況で、  
 地区外からも多数来場され  
 ました。

コロナ禍、絵画教室は3ヶ  
 月自粛し、7月から例会を再  
 開しました。  
 作品展会場は、必ずマスク

着用と呼びかけ、皆さま  
 に協力頂きました。  
 ありがとうございます。  
 現在会員数7名で少ない  
 が、出品数も頑張つて増や  
 し、計38点の力作が揃いま  
 した。  
 月会費500円、毎月第

一日曜日午前中、逆瀬台マ  
 ンション二階集会所で水彩  
 画を主に教室が開かれてい  
 ます。ご指導下さる先生は、  
 やさしくて、褒めて下さる  
 ので、上達も早い気がしま  
 す。和気あいあいとおしゃ  
 べりしながら、楽しい教室  
 です。「只今 会員募集中で  
 す。一緒に絵を描きません  
 か」皆さまのお越しをお待  
 ちしています。  
 S



# 「ふれあいサロン・アヴェルデ 「作品展・ミニコンサート」レポート

例年、多くの方々に楽しませていただいているバザーは、残念ながら今年は中止となりました。けれども、ステイホームの期間も作品展出品に向けてご精進くださった方が素敵な作品をご用意くださいました。管理棟2階にて前日

4時から搬入・設営を行いました。ピックアップに額を吊り下げたり、展示台の準備をはじめとする男性陣の応援もあり、とてもありがたかったです。ありがとうございました。

い」とお願いされる方もありました。作品には制作の時間や思いがこもっていて、我が子のような愛着があるものですから、話し合われていた

午後からは作品展と並行して、若い音楽家二人をゲストにお招きして、ミニコンサートを1時間開催しました。感染予防の対策をしつつ、約50名の参加者でご来場。ゲスト出演して下さった若い演奏家のお二人。

今年の春、大学を卒業し留学や演奏会などの予定がコロナの感染拡大のためにすべて実現不可能となっていた中で、私たちのために短時間ではありましたが「生」の音楽を届けてくださいました。

はじめてサロンの催しにご参加下さった方から、「久しぶりに生演奏が聞けて気持ちが元気になりました。ありがとう。」のお声をいただき何より嬉しく思いました。晴天に恵まれ、換気をして

もまだ寒くはなく、本当にグッドタイミングでの開催でした。3密を避けることや検温・マスクの着用、静かな鑑賞など、皆様のご協力下さったおかげで、心配していましたがその後の健康不安の情報もなく、胸をなでおろした次第です。

一同に会しての会食等はまだまだ実施できませんが、クリスマスにはお弁当の配食や、プレゼントくじ、ギター演奏会を計画しています。是非ご参加いただき、良いお年をお迎えくださいますように。

そして、一日も早く、何の厄災もない健やかな明るい毎日が訪れますように。

(執筆N)



昨年もとても好評だったコンサートの再演。  
11月15日「逆瀬川グリーンハイッツ」お喋りコンサート

バリトン歌手の橋氏とピアニストの金岡氏の2名で楽しい時間を過ごさせていただきました。

受付で検温を受付、連絡  
席数は50席程度と少なめに設定され、パンフレットに注意事項がしっかりとコロナ対策が記載されておりました。

先を残したうえ間隔を十分取られた席に着席。コロナ禍ということもあって会場者も過去伺った時より少なめでした。  
昨年は111名とごった返し椅子が足りないこともありましたが、今回は控えめなコンサートにし、ゆったりとしたものになっていました。

演奏者もアクリルシートの中で歌っていたこととし、室内の換気にも十分配慮されていました。  
1曲目 「栄冠は君に輝く」曲…古関裕而  
残念ながら今年もTVで聞くことがありませんでした。作曲家の古関裕而の作品なんかの紹介がありました。

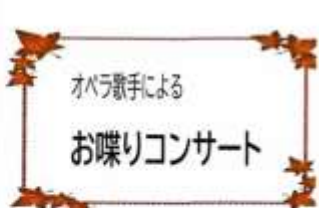
次の曲は(靴の紐?)と紹介されなんのことかと思いましたがシューベルトのことでした。この辺りがお喋りコンサートたる由縁なんでしょうね。

2曲目 「楽に寄す」曲…シューベルト  
3曲目 「二人の擲弾兵」曲…シューマン  
勇ましい曲でしたが、曲

中にフランス国家が挿入されてちよっとおしゃやかな感じの曲  
4曲目 「愛の讃歌」曲…モノー  
5曲目 (わたの道) 演歌ではありません勿論「マイ・ウェイ」曲…フランソワ  
です。



参加者のみなさまへお願い  
※参加者のみなさまには、二重感染ご心配を回避し、上げます。  
①1名様以内での来場での出席  
②会場内でのマスクの着用  
③入場時の検温(参加者も検温の義務)  
④入場時、及び退場時の手洗いや手指消毒(アルコール消毒液)  
⑤入場時の検温(体温37.5度以上の方は入場を中止させていただきます。)



日時：2020年11月15日(日) 14時開演  
会場：逆瀬川グリーンハイッツ自治会  
(管理棟2階)

主催 逆瀬川グリーンハイッツ自治会

コンサート開催予定(来年3月までの予定)  
11月15日(日) 14時開演  
12月15日(日) 14時開演  
1月15日(日) 14時開演  
2月15日(日) 14時開演  
3月15日(日) 14時開演

演奏曲目表

曲名	演奏者
栄冠は君に輝く	橋 茂(バリトン歌手)
楽に寄す	橋 茂(バリトン歌手)
二人の擲弾兵	橋 茂(バリトン歌手)
マイ・ウェイ	橋 茂(バリトン歌手)
愛の讃歌	金岡 優子(ピアニスト)
わたの道	金岡 優子(ピアニスト)

出演者のプロフィール

橋 茂(バリトン歌手)  
金岡 優子(ピアニスト)





**6曲目** 「この胸のときめき」

曲…ドナツジヨ  
エルビスプレスリーが歌ってあまりにも有名ですがイタリアで作られたカンツォーネだそうです。歌唱中にアクシデント。日本語歌唱とイタリア語の歌唱のほが英語も入り3カ国語に。  
ちよつと気合が入りすぎ？たのかも。

**7曲目** 「忘れな草」

曲…デ・クルティス  
ドイツ映画の中でイタリア人が歌ったドイツの歌でしたが、あまりにも良かったので翻訳されイタリア語で歌われるようになったそうです。

休憩中に自治会よりこのコンサートがゆずり葉の助成を受け行っていることの紹介がありました。

休憩を挟んで

**8曲目** 「昴」

曲…谷村新司  
誰でも知ってるあまりにも馴染みがある曲です。歌唱方法が違うことと、指笛もあり印象が全く異なりました。

**9曲目** 「また会う日まで」

曲…筒美京平  
マイク(ダミー)を持ち尾崎清彦に成り切り熱唱。  
**10曲目**からはオペラ曲に移行同時に曲の説明の面白さが増していく感じに。

「魔笛」より「恋人か女房が」曲…モーツァルト

**11曲目** 「フィガロの結婚」

より「さあ準備はできたまなこを開け」  
曲…モーツァルト

**12曲目**、「カルメン」より「闘牛士の歌」  
曲…ビゼー

**13曲目** アンコール



## パークマニション自治会行事 第三回『朗読会』開催

コロナ感染防止のため控えていた自治会行事について、全国的な感染状況や周辺マニションの実施状況をふまえて11月には朗読会をしようとして決定されました。

自治会として朗読会は初年度、二年度に続き三回目となり恒例の行事となっております。ただし、コロナ感染防止のためお茶タイムは中止となりました。

今回の朗読者は自治会役員でもある、おなじみのTOKUZさんです。お茶タイム中止のため、演目は八十分と長めのものになりました。朗読作品は、山本周五郎の探偵小説『寝ぼけ署長』十編物の中から第七編の「毛骨屋親分」です。今までは時代物が多かったと思いますが、今回は現代物です。戦後間もないアメリカ

カ統治下では寝ぼけ署長とは某市の「警察署長」。名前は「五道三省」。署でも官舎でも寝てばかりしているために『寝ぼけ署長』と呼ばれています。毛骨屋親分は、関東一円に知られた遊侠の人物。寝ぼけ署長と言われながら「強きをくじき、弱きを救う」というお話でした。TOKUZさん、八十分間、本当にお疲れ様でした。

マスクをして、立ちっぱなし、休みなしでの朗読、声がかすれることも、咳き込まれることも、コップの茶を飲みながらの熱演！  
本当にお疲れ様でした。  
(記：HB)



# パークマンション花壇づくり 『コスモス』から！

マンション前の第二公園での花壇づくり活動がスタートして十月で四年目になりました。会員さんも少しずつではありますが増えて現在十六名です。公園の周囲を活用しての花壇づくりですが一角からスタートして四分の三近く

まで広がっています。活動は、月一回から二回、代表者からこえがかかります。基本的には「参加自由」ですが、皆さん参加されています。お花づくりに詳しい方、全く分からない方、マチマチで

すが、皆さんそれぞれに会話を楽しみながら、一時間程度の時間を過ごしています。楽しいですよ！

今年にはコロナ感染防止のため、三月から五月末までは活動を自粛していました。最近では十月二十六日に皆さん集合しました。公園内にはたくさんのお落ち葉が積もっており、落ち葉回収と花壇内の雑草引きを行いました。

(記HB)



# 読者投稿 「大腸の内視鏡つて結構痛いんだけど」

毎年受けている胃の内視鏡カメラ(胃カメラ)はどうかってことないのですが、数年前に大腸の検査をしてもらったとき結構痛かったこともありそれ以来ご無沙汰となっていました。この夏、市の無料検診を受けた際に2本の検便のうち1本に潜血反応があったので重い腰を上げて検査してもらいました。

C Tで撮影したデータを3次元の画像解析をしてリアルに内部を映し出すというもののようです。自分の検査結果を聞きに行った際に担当の先生にその話をしたら最近の検査方法のようでした。医学って進歩するのだからと改めて思いましたが、もちろんカメラで確認することですが、以前の胃のバリウム検査の大腸版のようなもののような感じです。2度手間になるかもしれませんが検査のハードルがずっと下がった印象を持ち、大分、気が楽になりました。

(Y)



白瀬の自然

# 落葉の12月

12月の朝には大阪方面に白いベールがかかり、何となく幻想的な感じがします。それだけ季節が変化しているのでしょう。

木々の紅葉や黄葉も進み、この時期になると次々と葉を落とします。

ゆずり葉散策路のあたりは落葉樹が多く、黄色く盛り上がりさらには葉を足下に落として冬を越します。

散策路は“サク！サク！”という音を出して歩くこととなります。さらに寒い日には霜も混じって“ザク！ザク！”という感触も味わうこととなります。

風の吹く日も多くなり、朝には黄色い银杏の葉や紅いモミジの葉が吹きだまりに集められています。

咲いている花の少なくなる今、数少ない花を見ると同時に葉っぱの変化や枯れ木に留まった鳥や渡り鳥の観察、冬の星空を観察するなど、自然との付き合い方もいろいろと楽しむこともできるようです。



【編集後記】

今号では各マンションから久しぶりのイベントレポートが届きました。やはり交流の場面があると編集をしていると楽しくなります。地域の皆さんが繋がっているのだと感じられます。

しかし、ここに来て、新型コロナウイルス感染症が急拡大しています。やはり人々の動きが活発化してきたことと季節的な要因かと思われれます。

自粛生活の窮屈さや繋がりを感じられない辛さを味わいたくないとは思いますが。しかし、11月に入ってからの日々の新型コロナウイルス感染症の感染者数推移は想像を超えるものです。

注意すべき基本は三密の回避や手洗い、マスクの着用等々を忠実に実行することですね。

コミュニケーションの取り方も対面でない方法、すなわち、電話やインターホン越し、あるいはネットを通じたオンラインによるTV会議等の活用も増えています。

感染に注意しながら人とつながる方法も探ってみましょう。

(S)